

脳神経外科

片頭痛を予防薬でコントロール！

片頭痛は必ず治る病気ですが、働き盛りの20〜40歳台に多く発症し日常生活に支障をきたします。女性ホルモンの分泌と年齢が最も関連があり50〜60歳前後で誰でも治るのです。

現在、片頭痛の患者さんは推定800万人、そのうち74%の患者さんが日常生活に支障を来しています。片頭痛による経済的損失は3600億〜2兆3千億とも推定されています。仕事や家事、勉強がはかどらない、趣味を楽しめない、外出をためらう「片頭痛ストレス」を抱えながらも定期的に医療機関を受診している人はわずか2・7%です。長年片頭痛に

悩みながら、一人で我慢している人も少なくなく、片頭痛が理由では会社を休めないという人も大勢います。片頭痛をコントロールし、日常生活上の負担軽減を目指す予防治療があります。今までの予防薬では効果が少なかった場合でも「片頭痛の直接の原因物質（CGRP）をブロックすることで片頭痛発作の回数を減らし、痛みの発作を軽いものにする特効薬が今年から認可され使用できます。この薬は、痛みが強く、日常生活に支障をきたしている重症例ほど効果が期待できます。片頭痛は痛みだけでなく、心理的負担も大きく、大勢の必死で片頭痛を我慢している患者さんには非

一度頭痛外来を受診してほしいと思います。必ず「片頭痛ストレス」に苦しんできた時間を、本来の「楽しむ時間」にできる可能性があります。



石田 和彦

■ 脳神経外科・整形外科
いしだクリニック



☎044-955-0250
麻生区百合丘2-7-1
<http://www.ishida-clinic.or.jp/>

あります。